



行政区の再編

田部井広報編集委員長
行政区の再編はどの程度進んでいますか？

栗原町長

現状では、行政区の規模が戸数にして約1対7、行政経費が1戸あたりにして約1対5といった格差があります。また、小規模行政区では、人数不足でイベントに参加できなかったり、役員が何回も回ってくるなど、地域活性化に対するいろいろな弊害ができています。

これらの状況を踏まえ、長い間、この形で良いのだろうかと考えてきました。それぞれの行政区の持つ歴史もあるため、行政区再編は、町として長年の懸案事項であり、1年半程前に行政区長会に提案させていただきました。誤解

されがちですが、行政区再編計画は行政経費を減らす目的ではありません。行政区の活性化、公平公正化を目的としています。

田部井広報編集委員長

どれくらいの行政区数になるのですか？ また、再編の時期はいつ頃ですか？

栗原町長

行政区長会で自主的に検討していただいた結果、行政区数は現在の行政区から16行政区に再編され、おおむね行政区戸数の格差を2対1の格差に抑えられるよう、また、1つの行政区が300戸前後となるように計画しているところです。行政区の再編は、既存、隣接の行政区を割らずに統合させることが一つの基本原則です。2行政区で1つ、3行政区で1つ、4行政区で1つに統合など、3つのパ

町民の皆様、あけましておめでとうございます。
2015年の新春座談会では、栗原町長、野中議長、鈴木教育長に4人の広報編集委員が町の身近なテーマについてインタビューをしました。
さて、新春座談会ではどんな話がされたのでしょうか。

2015 新春座談会

ターンで行うべきと決定していただきました。

相手の行政区と統合した場合、さまざまな役員の構成、どんな組織が必要なのか、それぞれの区の持っている違いは何なのか、それらを克服するためにどうすればよいのか、PTAや老人会をはじめとする各種団体、さまざまな案件について役員同士で話し合いを進めていただいています。大多数の人に納得してもらえらるような案でなければ、当然進みませんので、そういったメリット、デメリットを含め、デメリットの部分ができるだけ少なくなるような方法も含め検討している状況です。

おおむね平成28年4月から新しい行政区で出発できればと考えており、その前に平成27年秋頃までには案を整え、それに沿って役員選出などを願う予定です。

小学校の統廃合は？

宮田広報編集委員

小学校は学校により児童数に偏りが見られます。小学校の統合については、どのよう

な方針ですか？

鈴木教育長

今年度の南小学校の1年生は7人、そして、予定では平成27年度の北小学校の1年生も7人です。小規模になり過ぎたため教育上良くないということもありまして、『板倉町立小学校適正規模・適正配置検討委員会』(以下、「検討委員会」)を昨年7月に立ち上げ、今後の形態を含めて考えてもらっています。検討委員会の答申を受けた後に教育委員会で実際に計画を提示することになります。

どちらかという話の流れは小学校の統合に向いていますが、具体的に南小学校、北小学校についてどうするかということはまだまた検討中の段階です。これまでの5回の検討委員会を経て、かなり細かいところまで答申案が練られました。今年の3月までに

は、検討委員会による答申がまとまる予定です。私個人といたしましては、最終的には小中一貫校を狙いとした過程を経るというように考えています。

栗原町長

少子化問題には教育的問題と経済的問題が絡まっています。教育的観点からすると少人数学級は、個人を伸ばすという面ではむしろ望ましい。一方、社会的、団体的教育は多人数で行うべきことと思えます。加えて、そこには人件費や建物の維持費など経済的な問題が必ず絡んできます。

山田広報編集委員

学校の選択など、将来的にはどの小学校に行ってもよくなるのですか？

鈴木教育長

板倉町では小規模特認校制度を取り入れています。これは、どの小学校でもいうことではなく、少人数の南



↑行政区長会議では行政区再編についても話し合われています



↑町民体育祭では人数が少なくて参加できない種目もあります





小学校と北小学校への区域外通学に限られています。

宮田広報編集委員

群馬県内の公立の小中学校で一貫校を導入しているところはありますか？

栗原町長

県内では、一部自治体で検討しているようです。いずれにしても、児童・生徒のバスによる送迎など、費用面、財政的措置も必要となるため、できるだけ早く現状にあわせて対応をしていきたいと考えています。

町の合併問題は？

室木広報編集委員

学校に続いて、町そのものの合併についての考えをお伺いできますか？

栗原町長

私はどちらかというところ合併

野中議長

以前は地域に世話好きなたがいて、いろいろな縁談の話をまとめて面倒を見てくれました。民間で世話好きなたがければ、婚活に関して協力をお願いしたい思いはあります。婚活中のかたがたも趣味の幅を広げ、積極的に外に出ていくと、さまざまな出会いも増えてくると思います。

栗原町長

自治体の婚活事業だけでなく、民間会社が企画する婚活事業や結婚相談所など、豊富なデータをそろえたシステムもあるのですが、さまざまな選択肢をとることも必要かと思えます。自分の生涯の伴侶を見つけることに手をこまねいてはいけません。婚活事業は単に人を集めて機会、だけを与えるのではなく、あらゆる機会を使って自らチャレンジ



推進派です。これから右肩下がりで縮小社会の中では、良いことばかりではないかもしれませんが、合併して行政コストを効率化し、その効率良くなった部分を住民サービスに向けていかざるを得ないと考えています。

現在、板倉町では合併の話は進んでいない状況ですが、話が持ち上がった際には、すぐに取りかかれるように、職員の兼任という形ですが、合併対策推進室を設置しており、今後合併の呼びかけ、話し合いには応じていくスタンスでいます。

野中議長

少子高齢化、人口減少社会が大きな原因になっていきます。つまり、働く若い人たちが減少し、税収が減っていきまます。今後インフラなども老朽化し補修する場合に多額の費用が必要となることから、住民サービスの低下が懸念されます。もちろん財源が確保できれば、合併しなくとも良いと思えますが、将来を展望したときに住民サービス低下が心配され、合併もやむなしとの考えはあります。

栗原町長

少子高齢化、人口減少社会が大きな原因になっていきます。つまり、働く若い人たちが減少し、税収が減っていきまます。今後インフラなども老朽化し補修する場合に多額の費用が必要となることから、住民サービスの低下が懸念されます。もちろん財源が確保できれば、合併しなくとも良いと思えますが、将来を展望したときに住民サービス低下が心配され、合併もやむなしとの考えはあります。

していくような教育をしている場であることが大事だと思います。

田部井広報編集委員長

利根川の洪水氾濫時の想定をした場合、板倉町の対応策は？

栗原町長

去年の御嶽山噴火の例から群馬県では浅間山が噴火し、火砕流が利根川を下ってくる場合を想定した対応策など危機感を持っています。板倉町に関して、幸いにも高低の差がなく、特定の箇所を除き、土砂崩れの心配もほとんど心配ない状況です。地震については、強い地震が起きたとき、瞬時に町民に周知するシステムも整備されていない状況ですので、自己判断で避難していただくことがまず基本になります。

防災の心構え

田部井広報編集委員長

利根川の洪水氾濫時の想定をした場合、板倉町の対応策は？

栗原町長

去年の御嶽山噴火の例から群馬県では浅間山が噴火し、火砕流が利根川を下ってくる場合を想定した対応策など危機感を持っています。板倉町に関して、幸いにも高低の差がなく、特定の箇所を除き、土砂崩れの心配もほとんど心配ない状況です。地震については、強い地震が起きたとき、瞬時に町民に周知するシステムも整備されていない状況ですので、自己判断で避難していただくことがまず基本になります。

板倉町で最も注意すべき事

対応ができなくなったり、板倉町に関係する予算も少なくなるなど懸念材料はあるため、一概に喜んで合併するという気持ちにはなれません。できれば、広域行政で対応できる部分は広域で行い、小さくても輝ける町として魅力のある町づくりができればという思いもあります。

栗原町長

市町村合併については進んでいない状況ですが、広域行政でできるものは、既に話が進んでいるものもあります。水道事業では、みどり市、太田市、館林市と邑楽郡5町を含めた3市5町で広域行政組合による事業展開が進んでいます。

野中議長

少子高齢化、人口減少社会が大きな原因になっていきます。つまり、働く若い人たちが減少し、税収が減っていきまます。今後インフラなども老朽化し補修する場合に多額の費用が必要となることから、住民サービスの低下が懸念されます。もちろん財源が確保できれば、合併しなくとも良いと思えますが、将来を展望したときに住民サービス低下が心配され、合併もやむなしとの考えはあります。

の部分合併なのではないでしょうか。効率良くできる部分は共同で事業を行っていかないと、皆様の税金に負担が跳ね返ってしまう懸念があるのです。町に入ってくる税金を効率よく大切に使う必要があればなりません。

婚活応援について

山田広報編集委員

婚活事業を行っています。が、若い人だけでなく中高年のかたがたにも機会があればいいのでは？

栗原町長

子ども達の健やかな成長のため教育環境の改善を進めます



↑子ども達の健やかな成長のため教育環境の改善を進めます



↑水道事業は3市5町での事業展開を平成28年度から行います



↑町の婚活を応援してくださっているボランティアの皆さん



↑避難訓練に参加することで防災意識を高めましょう

前の準備ができる可能性があるものは洪水による災害かと思えます。現在、洪水の危険水位になったとき、河川管理者から町長に直接連絡が取れるホットラインが整備されています。システム上、1時間45分から2時間前に状況を確認しながら避難指示あるいは避難命令が出されるシステムとなっていますので、板倉町としては自主防災組織に連絡し、全世帯に連絡がとれるような体制を敷いています。

栗原町長

毎年行っている避難訓練では、実際避難にどれくらい時間を要するかデータをとっています。避難訓練では要援護者を含めた避難も課題となっており、ニュータウン地区では実際に車いすを押して坂を上れるかどうかなど、要援護者の避難も想定した訓練も始めています。

試行錯誤の上、行政で出発した婚活事業も今は移行期にあると思っています。最初は全て町が関与してきましたが、現在は商工会青年部を中心とした婚活事業を展開しており、商工会青年部に決定権を持ってもらっていると思っています。今後も町として、いろいろな提言をいただき、引き続き町も協力していきたいと考えています。

野中議長

私は、ここにいる皆さんの中で唯一カスリーン台風体験者だと思えます。昭和22年の防は低かった。今は当時から思うと堤防も嵩上げし、強化されています。上流部にダムもでき、排水機場のポンプも更新したばかりですし、以降67年間水害はありません。このことから安全安心で災害がない町といっても過言ではないと思えます。しかし、昨今の地球温暖化の影響により何

から情報伝達ができるようにしていきたいと思えます。

野中議長

私は、ここにいる皆さんの中で唯一カスリーン台風体験者だと思えます。昭和22年の防は低かった。今は当時から思うと堤防も嵩上げし、強化されています。上流部にダムもでき、排水機場のポンプも更新したばかりですし、以降67年間水害はありません。このことから安全安心で災害がない町といっても過言ではないと思えます。しかし、昨今の地球温暖化の影響により何

が起こるか分かりませんが、想定外のことには備えることは必要です。

山田広報編集委員

日頃、町民は防災に関してどんなことを心がけていけばよいですか？

栗原町長

専門家の話では、全て行政の指示だけでは、限界があるとのこと。町民の皆様それぞれが台風などの災害情報に敏感になり、いざというときに避難準備を整えておくことが必要です。意識の徹底と自分で考えられることは常に考え、心がけておくことが大切です。最終的には自分の身は自分で守る意識が必要になります。

全国学力テスト

室木広報編集委員

全国学力テストについての考えは？

鈴木教育長

現在は、全国学力テストに参加した全校のデータを集計した結果が出ています。以前、群馬県は全国で中間ぐらいの位置でしたが、現在は下位の方になっているのが事実

です。板倉町では学力を上げる手段の一つとして学力コーデイネーターを中心として教職員の研修を実施してあります。この成果は着実に出てい

るものと感じています。勉強の進み具合については私立校や小中一貫校などと比べると差がありますが、公立校ですとどこに照準を置くのかが大切になってきます。上位に照準を置いた場合では、学校内でも差が大きく出てきてしま

ています。中間に照準をあわせ、丁寧に指導していくことが求められます。しかし、理解できた者に対して、足踏みしないような手だてを考えていくことが必要です。

議会改革その成果は？

宮田広報編集委員

議会改革を行っているようですが、その成果は？

野中議長

議会改革といいますが一般的に定数削減、報酬減額といったことがあげられます。板倉町議会では前回2名の定数削減を行い12名とし、委員会構成などを考えるとこれ以上の定数削減は限界である

感じています。議会改革への取り組みとしては平成23年6月に『議会改革特別委員会』を設置し、手始めに全世帯にアンケートを行いました。その結果私たち議員の知らなかったことも知ることができました。議会はどのよう

にあるべきかを考え、議会運営のルールを作ろうということ。先進地の視察も含めて検討を重ね、平成25年12月に議会基本条例を制定し、平成26年1月から施行しました。

そのことにより、昨年11月22日には、初めて議会報告会を開催しました。これからは議会報告会を開いていきたいと考えています。少しずつできることから実行していきたいと思



↑議会では、平成26年11月に初めて議会報告会を実施しました

ている実感がありません。改革に取り組んで良かったと思つてい

重要文化的景観の活用

宮田広報編集委員

板倉町は関東地方初の重要文化的景観に選定されましたが、整備、普及は進んでいますか？

鈴木教育長

重要文化的景観の整備・維持については進んでいる状況です。しかし、観光的要素に



↑重要文化的景観の構成要素となる谷田川とヤナギ山の景観

ついては、PR不足は否めません。

栗原町長

重要文化的景観は貴重な財産であるとは十分理解してはいますが、財政も含め思うようなことができていない状況です。できるだけ早く路線バス、自転車、徒歩も含め周遊コースができれば良いと考えています。

雷電神社の参道の整備や沈下橋の補修などの課題もありますが、同時に生活道路の整備も進めていかなければいけません。新庁舎建設も進めており、重要文化的景観に関する

る事業に十分な予算がつけられていないのは事実です。徐々にですが整備・維持についても予算を付け、無理のない範囲でPRしていきたいと思っています。

併せて渡良瀬遊水地については、ラムサール条約登録湿地として登録されましたが、今後どのように活用していくか考えていかなければなりません。現在は、渡良瀬遊水地を囲む栃木市、小山市、古河市、加須市、野木町を含めた4市2町で協議会を設立して共通で何ができるか話し合いを進めています。町民の皆様が考えている以上に迅速にはできないかもしれませんが、一つ一つできることから取り組んでいきます。

小学校の英語教育

田部井広報編集委員

子どもの英語教育についてのお考えは？

鈴木教育長

2020年には、小学5年生から英語が教科となり、週3コマ実施されます。私個人といたしましては、いつ始めても英語が知識として定着するのは中学2年生位からであるとのデータがある分、小学5年生から十分と思つています。英語教育は慌てることなく、



↑昭和33年に完成した役場本庁舎は経年のため劣化がみられる

小学4年生までは、基本となる日本語教育に力を注いでもらいたいと考えています。英語教育に関しては、先生方にスペシャリストになるため勉強してもらっています。小中学校の橋渡し役としても期待しています。小中学校枠を超えた教員同士の情報交換も始めています。英語の低学年からの活動に関しても狙いがどこなのか慎重に判断していかなければなりません。いづれにしても、現在はスペシャリストが不足しているの

役場新庁舎建設

室木広報編集委員

役場新庁舎はどこに、いつ頃、完成予定ですか？

栗原町長

役場新庁舎は中央公民館付近に建設予定で、平成28年度中の完成を目指して作業を進めています。

山田広報編集委員

役場新庁舎建設はどのようなことに心がけていますか？

栗原町長

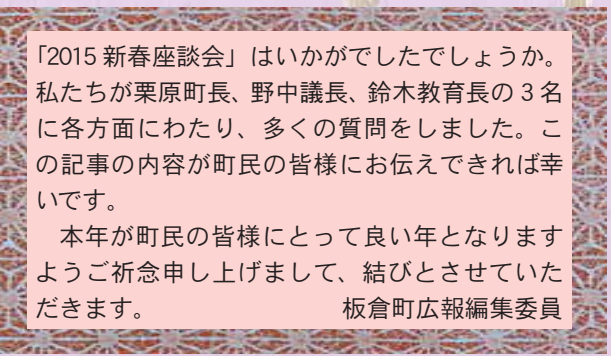
役場新庁舎は『役場庁舎基

本計画検討委員会』の結果に沿って建設する予定です。具体的には、高度情報通信社会に対応した庁舎、防災拠点となる庁舎、利活用しやすい庁舎、弱者に配慮した庁舎、職員が働きやすい庁舎を念頭に考えています。

震災特需の関係で建築資材の高騰などの影響により万が一の場合は先送りになる場合もあるかもしれません。約15億円程度で建設できる庁舎を目指していましたが、設計を

してみて実際のどのくらいになるのかによって、いろんなケースが考えられます。なお、用地買収については、完了しつつある状況です。

今後は市町村合併も起こりうるかもしれませんが、できるだけ汎用性に富んだ間取りを考え、省資源、省工ネに配慮した庁舎を建設していく必要もあります。自然と近代化・環境に配慮した板倉にふさわしいデザインの庁舎建設を目指していきます。そして、できるだけ財政の健全さを失わないところで、計画どおりに進めていけたら良いと思つています。



「2015新春座談会」はいかがでしたでしょうか。私たちが栗原町長、野中議長、鈴木教育長の3名に各方面にわたり、多くの質問をしました。この記事の内容が町民の皆様にお伝えできれば幸いです。本年が町民の皆様にとって良い年となりますようご祈念申し上げまして、結びとさせていただきます。板倉町広報編集委員



宮田 毅 委員 山田 真弓 委員 田部井 治 委員 室木 江里子 委員